

日本基督教団 小倉東篠崎教会  
 受難節連祷会のご案内  
 「受難の風景—証し」

一際厳しい寒さが続く中にも、梅の花がほころび始め、春が近づいてきていることを告げています。暖かく、いのちに輝く春が切ないほどに待ち遠しい季節となりました。皆様には、主のご恩寵のもと、いやます慰めの内に日々をお過ごしのことと、主に感謝いたします。

今年の3月5日(水)が、灰の水曜日 Ash Wednesday です。この水曜日から、主のご受難を覚え、罪の悔い改めと贖いの御恵みに心を向ける季節、「受難節・レント」が始まります。灰の水曜日から聖土曜日に至る、日曜日を入れずに四十日となる大切な季節(四旬節)です。レントという言葉は元々、アングロサクソンの言葉 lencten に由来し、「春(の日の長さ length)」を意味します。復活日・イースターを祝うための準備の季節でもあるということです。歴史的には、レントは洗礼のための断食と準備の期間として始まりましたが、後に全ての信徒による懺悔のための季節となりました。最初の主日には、サタンによる主イエスへの誘惑を、6週目の棕櫚の主日には、エルサレムへのキリスト勝利の入城とその後に続く受難と死を覚えつつ、わたしたちは礼拝を守ることとなります。

教会にとって最も大切なこの季節、今年も「受難節連祷会」を下記の通り開催いたします。

今年のテーマは、「受難の風景—証し」です。ノンフィクション作家・最相葉月(さいしょう はづき)著『証し—日本のキリスト者』の帯に、「差別、戦争、病、死、そして罪の贖いと赦し／なぜ、神を信じるのか／北海道から沖縄、五島、奄美、小笠原まで、全国の教会を訪ね聞いた135人の言葉と信仰のかたち」と記されています。今年の受難節はご一緒に、そんな証しに耳を傾けてたいと願っています。どうぞふるってご参会ください。

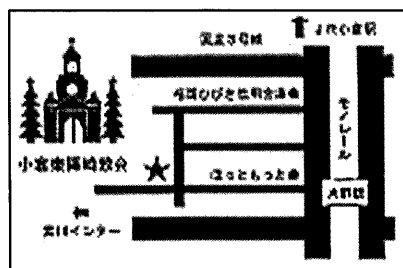
記

日 時 3月5日～4月16日 毎週水曜日 午前10時00分～11時15分

会 場 教会1階 第二礼拝堂

内 容 (変更することもございます)

回	日 程	内 容
1	3月5日	灰の水曜日／十字架の風景—まえがき：マタイ6章5～15節
2	3月12日	十字架の風景—兄弟姉妹：マルコ3章31～35節
3	3月19日	十字架の風景—教会とカウンセリング：ヨハネ13章31～35節
4	3月26日	十字架の風景—宣教ブーム：ヨハネ3章1～21節
5	4月2日	十字架の風景—夫婦と教会：マタイ11章25～30節
6	4月9日	十字架の風景—宣教の終わりと始まり：フィリピ2章12～18節
7	4月16日	受難週・聖水曜日／十字架の風景—あとがき：Ⅱコリント5章11～21節



2025年2月23日

日本キリスト教団 小倉東篠崎教会

北九州市小倉北区東篠崎1丁目2-13

(モノレール片野駅西側徒歩3分) TEL 093-951-7199